

胸痛を主訴として来院した急患の看護の標準化のために

～プロトコールを作成して

キーワード:胸痛 プロトコール 救急看護

外来 ○研井礼子 白石涼子 原田侑子 上川知広 森田ひとみ
原麻美 長谷川珠美 青木美紀 佐藤里香 松山麻須美

1、はじめに

当院の救急外来では、24 時間体制で年間 5100 台の救急車及び、約 16200 名の Walk in の急患対応を行っている。その受診患者のうち、急性心筋梗塞(以下 AMI とする)と診断された患者の中には救急車を利用せず、Walk in で救急外来を受診する例もある。当院では救急車搬入は、平日 24 時間及び土日の日勤帯は救急部医師が対応しているが、土日の当直帯の救急車搬入患者、平日当直帯・休日救急車搬入以外の急患は、1～2名の内科医が当番制で当直し、看護師は各科外来看護師が救急外来を担当している。救急部所属以外の医師・看護師共に救急外来専任ではなく、救急対応の経験が少ないスタッフもいる。そのため、当直スタッフによって、救急対応の経験に差があり、虚血性心疾患の診断・治療までに時間を要する場面があった。

AMIにおいて、出来るだけ迅速に心臓カテーテル検査(以下心カテとする)を行い、経皮的冠動脈形成術(以下 PCI とする)を成功させるためには、初療の段階で急患の病態を詳細に観察し、必要な処置・看護を的確に行い、関係各部署やコ・メディカルとのスムーズな連携を図ることが重要となってくる。

今回、的確な診断と必要な処置・看護が確実に短時間で実施でき、救急外来で勤務する医療スタッフが統一した対応ができ、かつ看護の標準化ができる事を目的としてプロトコールを作成したので報告する。

2、方法

1) 期間:平成 18 年度(プロトコール導入前)と平成 19 年 7～9 月(プロトコール導入後)

2) 対象:①上記期間に救急外来で初療を受け、心

カテに至った患者

②プロトコール使用対象は救急外来で診療にあたる内科医師(循環器内科医師以外)及び外来看護師

3) 方法:①緊急・短期看護記録、救急外来日誌よりプロトコール導入前後での救急外来滞在時間(救急外来受診から心カテ室搬入もしくは CCU 搬入に至るまで)を調査し、比較する。

②プロトコール作成に関しては以下 3、実施、結果参照

4) 倫理的配慮

調査の際に情報は記号化し、個人を特定できないようにした。管理責任者の許可を得た上で、調査を実施し、調査内容の守秘義務を徹底すると共に、資料などを紛失せぬよう十分配慮した。

3、実施、結果

プロトコール作成にあたっては当院救急外来で AMI 患者の診療にあたった医師、及び看護師より情報を得て、当院循環器内科医師がアセスメントツールを作成し、それに基づきプロトコールを作成した。次に、内科医師、看護師にプロトコールの説明を行い、コンセンサスを得た。作成したプロトコールは表 1 参照。実施にあたっては①疾患について(トリアージ・看護を含む)②心カテについて(前処置も含む)救急外来全スタッフに学習会を行った。

救急外来受診の AMI 患者のうち、救急外来滞在時間を比較した結果、プロトコール導入前は救急外来平均滞在時間 68 分、導入後は平均滞在時間 44 分で 24 分の短縮であった。また、プロトコール導入前は 10 例中 9 例がいったん CCU に収容し、心臓カテーテル検査の前処置後、検査室搬入となっていたのが、導入後は 8 例中 1 例となった。

4、考察

プロトコール導入する以前は当直内科医師が診察し、それから検査を行い、その結果を待ってから循環器内科医師にコンサルトされていた。看護師もトリアージを含めたアセスメントが不十分でどちらかというと医師の指示で処置を行っていた。

しかし、プロトコール導入後は看護師においては胸痛患者に対し医師からの指示を待つだけでなく、自ら進んで必要な検査・処置・看護を行えるようになった。これは、プロトコールにより処置の進行状況が明確になったと同時に学習の必要性をそれぞれが感じ学習を行ったためと考える。また、医師においては心電図変化や患者の状況によりすぐに循環器内科医師にコンサルトし、プロトコールに沿って処置を指示することが出来るようになった。結果、的確な診断と救急外来時間短縮により少しでも早くPCIを成功させるという目標に近づくことができたと思う。

今後さらに看護師のフィジカルアセスメントを含めた学習を深めていくことで、AMIを示唆する患者に対し、的確な診断と救命及び生命維持に必要な循環の維持又は身体的心理的な苦痛緩和等の必要な処置・看護が確実に短時間で実施でき、救急外来で勤務する医療スタッフが統一した対応ができるという目標に近づけると考える。

5、まとめ

・プロトコールを使用することで心カテに至るまでの時間を短縮でき、患者の身体的・心理的苦痛を軽減することができた。

・プロトコールを使用することで外来看護師の循環器疾患に対する知識や意識が高まり、看護の質の向上、標準化につながった。

6、終わりに

今回、胸痛を主訴に来院した患者の速やかな心カテ室搬入も目標としてプロトコールを作成した。今後は救急外来でのトリアージ看護をレベルアップすべく知識・学習を深めていきたいと考える。

参考文献

- ・ ナースのための救急・集中治療 メディカ出版 坂田育弘編著
- ・ 図解救急ケア 大船中央病院 芦川和高監修
- ・ クリティカルケア看護の Q&A 医学書院 山勢博彰編著
- ・ ECC(救急心血管治療)ハンドブック 中山書店 岡田和夫監修
- ・ 救急看護 川原礼子監訳

登録番号

氏名

生年月日

<p>② 虚血を示唆する胸部不快感（しめつけられるような胸痛・胸部違和感が典型的だが、胃痛・背部痛・嘔気などの症状の場合もある）を訴える患者来院。</p>	<p>・来院時間（ : ）(Ns) ・発症時間（ : ）</p>
<p>②優先的に患者のもとへ行き状況をみて詳しい問診又は重篤ならベッド2 or 3 で安静にする。右記検査を行い医師へ報告。必要時他看護師へ報告し、連携。</p>	<p>・VS チェック・ECG12 誘導 <input type="checkbox"/> 済 ・以前 X-P・ECG 取り寄せ <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要（初診） 診察医師（ Dr）</p>
<p>③ECG 結果はすぐ医師へ。ECG 異常を認めたら直ちに当直医師より循環器医師へコンサルト。</p>	<p>・循環器医師コンサルト <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 コンサルト時間（ : ） 循環器医師（ Dr）</p>
<p>④医師より右記検査の指示を得る。問診の状況で医師に搬送方法、ポータブルの必要性確認。 *血管確保は20G サーフロ針を原則とし、循環器用ルートを使用する。 *穿刺部位はなるべく左前腕で。</p>	<p>・酸素投与 <input type="checkbox"/> 要（ Lマスク）<input type="checkbox"/> 不要 ・血管確保 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 サーフロ針 G 血管確保部位：右・左前腕 右・左下肢 輸液メニュー：生理食塩水 ml/h <input type="checkbox"/> 採血（ : ） <input type="checkbox"/> ABG <input type="checkbox"/> ラピチェック（ : ） <input type="checkbox"/> X-P</p>
<p>⑤循環器医師診察（Dr ） *シグマートは1V48mgを5%G48ccで溶解。 （1cc=1mg、CCUメニュー同様）</p>	<p>心エコー <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未 CT他追加検査 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> シグマート48mg ml/h 薬剤投与 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ ） 心カテ室直入宣言<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（ : ）</p>
<p>⑥入院手続き</p>	<p>本人への説明 <input type="checkbox"/> 済 家族連絡 <input type="checkbox"/> 済 入院指示 <input type="checkbox"/> 済（指示 Dr ） <input type="checkbox"/> 無</p>
<p>⑦心カテ準備・前処置 *カテ室移動の際は除細動器でモニタリング、適宜緊急薬剤持参し移動する。 ・更衣 <input type="checkbox"/> 済 ・貴金属除去 <input type="checkbox"/> 済 ・両足背動脈触知・マーキング <input type="checkbox"/> 済 ・両鼠径部剃毛 <input type="checkbox"/> 済 ・両前腕剃毛 <input type="checkbox"/> 済 ・尿留置挿入 <input type="checkbox"/> 済 ・前張り <input type="checkbox"/> 済</p>	<p>・心カテ説明 <input type="checkbox"/> 済 ・同意書 <input type="checkbox"/> 済 ・病棟連絡 <input type="checkbox"/> 済 ・バイアスピリン <input type="checkbox"/> 済（錠） パナルジン <input type="checkbox"/> 済（錠） プレタール <input type="checkbox"/> 済（錠） プラビックス <input type="checkbox"/> 済（錠） ・ペンレス貼用（部位、 : ） （ : ）実施 Ns（ ）</p>